

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月17日

計画の名称	集客都市の推進												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	高崎市												
計画の目標	人口減少社会を迎えた今日、地方都市においては、市街化区域の検討などの抜本的な見直しにより、コンパクトシティの形成や中心市街地の活性化が急務となっている。高崎市は古くから交通の要衝として栄え、新幹線・高速自動車道等の広域ネットワークの結節点として発展してきたが、本市の拠点性による物流機能は近年さらに向上しており、人・もの・情報が大いに集積するための物理的条件は整いつつある。その交通拠点性を大いに発揮し、中心となる高崎駅周辺地域に都市機能を集積させることでコンパクトシティを形成し、魅力ある拠点施設整備による集客力の向上を目指す。さらに、「高崎」を都市としてブランディングさせていくため、市民の産業経済活動や芸術文化活動を支援することで本市経済・文化の創造と牽引を図り、産業と芸術文化が溢れるまちづくりを目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,942	A	2,942	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R1末)
1	高崎駅東口周辺の1日あたりの休日の歩行者数48,256人(H28)を50,000人(R1)へ増加 高崎市中心市街地通行量動向調査から、高崎市東口周辺の歩行者数を計測する。	48256人/年	49000人/年	50000人/年
2	中心市街地内の文化施設の年間利用者数648,078人(H28)から1,070,000(R1)へ増加 市内の5つの中心市街地内の文化施設の年間利用者数を計測する。	648078人	675000人	1070000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	高崎市	直接	高崎市	-	-	高崎駅東口周辺地区都市再生整備計画	区域面積95.1ha、高次都市施設	高崎市						2,942		-		
												小計						2,942			
											合計						2,942				

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 高崎市で実施する。	事後評価の実施時期 令和3年3月
	公表の方法 高崎市のホームページで公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>【まちなか歩行者通行量】 東口周辺での開発計画による期待度の高まりから注目度が増し、さらに中心市街地でのまちなかサイクル、ぐるりん都心循環線など移動手段の多様化による回遊性の向上を図った試みや、ペDESTリアンデッキの延伸による快適で安全な歩行経路の整備により、駅のほか目的地のみの往来で留まっていた歩行者の回遊性が向上したと考えられる。</p> <p>【中心市街地内の文化施設の年間利用者数】 音楽を始めとした文化や芸術に対する市民の機運醸成が見られたものの、コロナの影響により、期待していた高崎芸術劇場のみならず、全ての文化施設において催し物の中止が相次ぎ、目標値を達成することが困難となった。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>目標達成に重要な高崎芸術劇場は、新しい芸術文化の殿堂として期待されつつも、その効果を十分発揮できない世情である。本年度も更なる悪化が予見され、改善の見込みは立たないが、数年後を見据え、市民に愛され、利用しやすい施設運営で利用者の増加を図っていく。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	まちなか歩行者通行量	
	最終目標値	50000人/年
	最終実績値	70087人/年
2	中心市街地内の文化施設の年間利用者数	
	最終目標値	1070000人
	最終実績値	613395人